

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『口車に乗せられる』

意味：相手のうまい話にだまされるという意味。

ひとこと：“口車”とは口先だけのうまい言い回しのこと。

使い方：店員の口車に乗せられて、つい高い買い物をしてしまった。

『くちばしを入れる』

意味：人の話に横からあれこれ言って、割り込むこと。

ひとこと：類義語として「口をはさむ」「口を出す」がある。

使い方：母は子供同士の話によく口ばしを入れるので困る。

ことわざ

『木を見て森を見ず』

意味：目先のことにとらわれて、全体を見誤ること。

ひとこと：類義語として「木を数えて林を忘れる」がある。

使い方：今日の行動だけで彼を批判するのは、木を見て森を見ずだよ。

『苦あれば楽あり』

意味：苦しいことがあれば、きっとあとで楽しいことがあるの意味。

ひとこと：「苦あれば楽あり、楽あれば苦あり」という言い方もある。

使い方：今日はしんどかったけど、苦あれば楽ありだ、きっと明日は良いことがあるよ。